

園長印	講師印	園長補佐印	主任印	担任印

週指導計画 尾道市立木ノ庄東幼稚園 3歳児 りんご組	
11月 2週 11月 11日(月)～ 11月 15日(金)	
期のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身の回りのことが自分でできる楽しさを感じる。</li> <li>○自分のイメージしたものにできると、表現することを楽しむ。</li> <li>○寒さに負けず、進んで体を動かす。</li> <li>○秋から冬への自然に興味をもち見たり触れたりする。</li> </ul>

先週の幼児の姿からの願い

○朝上着を脱ぐことを自分でしようとする姿がある。難しい所は「手伝って」と自分から教師に伝えてくる。難しいことがなかなか教師に伝えられず、困っている姿もある。難しい所は教師が手伝いながら、自分でできることを増やしたり、「自分でできたね」と声かけをしたりしていきたい。

○ケーキ屋さんコーナーで店員やお客さんになりきることを楽しんでいる。ケーキ屋さんの帽子やカチューシャを作ると、喜んで被り、なりきって遊んでいた。戸外では、ドングリやマツボックリを水の入ったコップに入れ、ジュースやごはんに見立てて遊んでいる。また、わくわく広場のステージを子供と一緒に飾りつけると、ステージへの興味が高まってきた。作った衣装やアイテムを身に付けて音楽に合わせて体を動かして踊ることができるようにしたい。自分なりにイメージしたものを作ることができるように、秋の自然物や廃材など色々な材料を用意しておきたい。

○遊びの中で自分の思いを伝えるようになってきた。ごちそう作りなどで作ったものを教師に見せ、「プリキュアカレーなんよ」「これね、おいしいんよ!」と自分なりの思いを表現している。自分の思いを伝えられるようになってきた一方、友達の思いになかなか気が付かずトラブルになることもある。子供の様子を見守りながら、教師も受け止めたり、代弁したりして話をしていきたい。

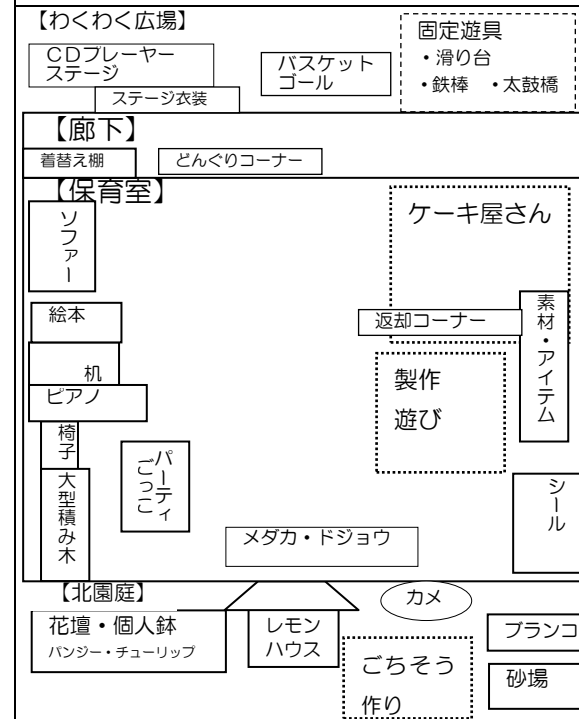
○戸外で落ち葉やドングリを使ってラーメンやジュース、ケーキなどを作っている。ヨウシュヤマゴボウの色水で綺麗な色がでることを喜んだり、マツボックリの大きさの違いに興味を持ったりしている。ドングリを振って音がでることを不思議に思い、何度も振ってみる姿もあった。秋の自然物への興味や親しみが深まってきているので、新しい遊び方を示したり、自然物を増やしたりして新しい発見や喜びがあるようにしていきたい。

週のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身の回りのことを自分でしようとする。</li> <li>○教師や友達と一緒に触れ合いながら遊ぶことを楽しむ。</li> <li>○自分の思いを言葉に表したり、友達の思いに気付いたりする。</li> <li>○秋の自然物を遊びに取り入れて楽しむ。</li> </ul>
-------	---

内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上着の始末など、自分でできることを自分でしようとする。</li> <li>・教師や友達と体を動かしたり、なりきって遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・教師や友達に自分の思いを伝えようとしたり、友達の話を聞こうとしたりする。</li> <li>・秋の自然物をごっこ遊びやごちそう作りに利用しながら遊ぶ。</li> </ul>
-----	---

活 動 予 定 (行事・絵本・歌等)	11日(月)	12日(火)	13日(水)	14日(木)	15日(金)
	8:30 登園・身支度 好きな遊び 10:10 片づけ 10:25 振り返り トイレ・手洗い 10:50 楽器遊び 11:00 給食準備 11:30 給食 12:10 好きな遊び 13:00 降園準備 『いもほりよいしょ』 13:40 降園	8:30 登園・身支度 好きな遊び 10:10 片づけ 10:25 振り返り トイレ・手洗い ♪もみじ 10:50 ジュース作り 11:00 給食準備 11:30 給食 12:10 好きな遊び 13:00 降園準備 『おちばひらひら』 13:40 降園	<広島県国立幼稚園・こども園連盟教育大会> 8:30 登園・身支度 好きな遊び 10:00 わくわくランド ♪どんぐりころころ 10:10 片づけ 10:25 振り返り 10:40 降園準備 トイレ・手洗い 10:50 降園	<わくわく読み聞かせ> 8:30 登園・身支度 好きな遊び 9:45 片づけ トイレ・手洗い 10:00 わくわくランド ♪どんぐりころころ 11:00 給食準備 11:30 給食 12:10 好きな遊び 13:00 降園準備 13:20 わくわく読み聞かせ 13:40 降園	<ばたぼん読み聞かせ> 8:30 登園・身支度 好きな遊び 9:50 片づけ トイレ・手洗い 10:10 朝の会 ♪まつぼっくり等 10:25 ばたぼん 11:00 給食準備 11:30 給食 12:10 好きな遊び 『こぶたのかばん』 13:40 降園

○予想される活動 ☆環境の構成 ●教師の援助



- 教師や友達と一緒に触れ合いながら遊ぶことを楽しむように。
- ☆製作コーナーでは、新聞や広告、空き箱、カップ等、扱いやすいよう分類しておく。
- ☆友達と同じようにしたり、同じ場で遊んだりすることを楽しめるよう、遊びの場所や遊具、材料の数を十分に確保する。
- ☆踊りのアイテムや、曲の入ったカセットやデッキなどを使いやすいところに準備する。
- ☆自分で遊び出すことができるよう、作ったお面などを子供が準備や片付けのできる場に置く。
- ケーキ屋さんごっこ ○製作遊び ○大型積み木 ○ステージごっこ(プリキュアの曲、くろねこのタンゴ等) ○ボール遊び ○おにごっこ
- 友達と遊ぶ楽しさを感じられるように、教師も一緒に遊んだり、楽しさを言葉に出して伝えていったりする。
- 子供が自分で作ったり出し入れしたりしやすいように製作コーナーを整理する。
- 教師も一緒にリズムに合わせて、一緒になりきって体を動かして遊ぶ。

- 自分の思いを言葉に表したり、友達の思いに気付いたりするように。
- ☆好きな遊びができるように子供の好きな遊具や興味をもっている遊具がすぐに見えるように準備しておく。
- ままごと、ごっこ遊び 等
- 自分の思いが友達に伝わる楽しさを感じられるよう、「○○ちゃんは～になっているんだね。」など、必要に応じて一緒に思いを伝えるなどして援助する。
- 友達の話にも耳を傾けることができるよう、教師がそれぞれの気持ちに丁寧に寄り添いながら代弁したり、言葉が出るのを少し待つなどして見守ったりする。
- 物の取り合いになった時には、どうしたかったのか、友達にどのように伝えたらよいのかを一緒に考え、自分の思いを言葉で伝えられるように教師も一緒に友達に伝えるなどして対応する。
- 「友達と同じものが作りたい!」という思いを受け止め、同じ種類の廃材や素材を十分に用意しておく。
- トラブルが起きた時には、教師が互いの思いを受け止めて代弁し、相手の気持ちに気付けるようにする。

- 秋の自然物を遊びに取り入れて楽しむように。
- ☆草花や木の実を入れられるように、ビニール袋などを用意しておく
- ☆拾ったドングリや落ち葉などを小分けにして入れ、砂場遊びやごっこ遊び、製作遊びに取り入れる楽しさを感じられるようにする。
- ☆自然物を見立ててままごとを楽しんだりできるように、コップやお皿、おたま等を用意する。
- 草花のごちそう ○秋見つけ(どんぐり、落ち葉拾い) ○どんぐりケーキ作り
- 教師も一緒に子供と木の葉をめぐったり、草をかき分けたり、実を探したりして遊ぶ。
- 園庭の実や草花を使って見立てて遊ぶ姿を見守り、教師がお客さんになってやり取りを楽しめるようにする。
- 「きれいだね」「色が変わったね」等、秋の自然物に親しむことができるような言葉がけをする。

生活習慣・家庭との連携

- 身の回りのことを自分でしようとする姿を認め、できないところは励ましたり、さりげなく手伝ったりして自分でできたという気持ちや満足感を味わえるようにする。
- ・咳・鼻水など、体調を崩している子供が多いので、戸外から帰った際に必ず手洗いに加え、うがいをするように教師も一緒に手洗い・うがいをし、言葉がけをする。
- ・気温の変化によって、衣服の調節も声をかける。スモックの着脱やたたみ方等、自分でしようとしている姿を見守り、一人一人にあった援助や声かけをしながら、自分でする満足感を味わい、自信へとつなげていく。
- ・降園時に毎日、保護者に向けて子供の様子や園からのお願いを話し、家庭との連携を図っていく。
- ・給食は、一人一人に合わせ、量を調整し、苦手な食べ物等、個のペースに合わせて食べられるよう手助けや声かけをしていく。

評 価 ・ 反 省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りのことを自分でしようとする事ができたか。</li> <li>・教師や友達と一緒に触れ合いながら遊ぶことを楽しむことができたか。</li> <li>・自分の思いを言葉に表したり、友達の思いに気付いたりすることができたか。</li> <li>・秋の自然物をごっこ遊びや製作に利用しながら遊ぶことができたか。</li> </ul>
-----------	--